

冊子「オトナ社会へのパスポート 知っておきたいこれだけは」を2時間授業で行う場合の授業プランです。  
1時間授業の場合は、表右の★マークを中心に行う方法もあります。

### 授業プラン (2時間授業の例)

- 1時間目で「契約について学ぼう」(冊子P1~P5)  
「インターネット社会をかしこく生きるために」(冊子P6~7)
- 2時間目で「インターネット社会をかしこく生きるために」(冊子P8~9)  
「ひとり立ちをするために」(冊子P10~P13)  
「消費者市民社会の一員として」(冊子P14~15)を行う場合の授業プランです。



1時間目 50分授業 「契約について学ぼう」「インターネット社会をかしこく生きるために」

時間	冊子対応ページ	学習内容	手引書 対応ページ	50 分
<b>契約について学ぼう</b>				
10分	P1 契約って何?  P2 契約はやめられないの?  P16-17 消費者関連法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「約束」と「契約」の違いを知る</li> <li>①契約の成立「申込」と「承諾」の意思の合致で成立する—口約束でも成立する</li> <li>②契約の拘束力 契約は責任が伴う—「権利」と「義務」が生じる</li> <li>③契約は一方的にはやめられない</li> <li>④やめられる場合 消費者契約法、民法 未成年者契約の取消し クーリング・オフ 民法・消費者契約法・特定商取引に関する法律</li> </ul>	P2  P2  P3  P6	★  ★  ★
15分	P4-5 気をつけたいこんな契約 具体的な事例と対処法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アポイントメントセールス・キャッチセールス・マルチ商法の事例から、勧誘方法を知る</li> <li>・ロールプレイで体験する</li> <li>・その他の、若者が被害に遭いやすい商法</li> </ul>	P7-8  P10 P8-9	★
10分	P3 クーリング・オフをするときは 契約をやめられる特別な制度  P5 中途解約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クーリング・オフ制度を理解する</li> <li>・クーリング・オフのチェックポイントで、条件に当てはまるか確認する。(販売方法・期間・効果など)</li> <li>・クーリング・オフ通知の書き方、出し方を知る</li> <li>・中途解約ができる契約を知る (特定継続的役務提供 エステ、連鎖販売取引 マルチ商法)</li> </ul>	P5-6  P5  P7	★ ★ ★
<b>インターネット社会をかしこく生きるために</b>				
15分	P6 インターネットショッピング P7 インターネットオークション・フリマアプリ P7 インターネットでの契約 P7 様々な支払方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットショッピングの事例から、「通信販売」にはクーリング・オフ制度はなく「返品に関する規約」があることを知る</li> <li>・インターネット契約時に気をつける点を確認する 電子消費者契約に関する民法の特例に関する法律(電子契約法)</li> <li>・多様化する支払方法について理解する</li> </ul>	P11-12	★ ★

### アクティブ・ラーニングを用いた消費者教育

次期学習指導要領では、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法である「アクティブ・ラーニング」が導入されます。

生徒が実践的な教育を育むことにより、主体的な学びを引き出し、内容を深めていく機会となります。

参考サイト：消費者庁消費者教育ポータルサイト <https://www.kportal.caa.go.jp/>

2時間目 50分授業 「インターネット社会をかしく生きるために」  
「ひとり立ちをするために」  
「消費者市民社会の一員として」



時間	冊子対応ページ	学習内容	手引書 対応ページ	50 分
<b>インターネット社会をかしく生きるために</b>				
15 分	<b>P8-9 インターネット の世界を安全に</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>架空・不当請求・ワンクリック請求の事例と対処法を知る</li> <li>出会い系サイト、ブログ・SNS等の個人情報の管理の必要性、著作権・肖像権等に関する情報発信の際の注意点を知る</li> <li>オンラインゲームやスマートフォンの利用上の注意点を知る</li> </ul>	P12-15	★
<b>ひとり立ちをするために</b>				
20 分	<b>P10-11 クレジットカ ード</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレジットの仕組み(三者間取引)を理解する 後払いは借金と同じだと理解する</li> <li>支払方法と手数料を理解する</li> <li>クレジットカード利用の注意点を知りトラブルを避ける</li> <li>個人信用情報機関への登録を知り「信用」の重要性を理解する</li> </ul>	P16-17	
	<b>P12 マネートラブルに ならないために</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多重債務を知る</li> <li>利子と返済額の増加を理解する 本当に必要なのか、返せるのか、利用する前に考えるようにする</li> <li>債務整理の方法と相談先を知る</li> <li>名義貸しの支払い義務は名義人にあることを理解する</li> </ul>	P18	★
	<b>P13 上手なお金の管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収入・支出・貯金の3つのバランスを考える</li> <li>奨学金は将来にわたる自分の借金なので、返すことも念頭において 借りる額を決めることが大切であると伝える</li> </ul>	P19	
<b>消費者市民社会の一員として</b>				
10 分	<b>P14-15 商品の選び方 で世界は変えられる</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者市民社会の考え方を理解し、商品の選択の仕方、社会も変わることを理解する</li> <li>持続可能な社会をめざして、できることを考える</li> </ul>	P20	★
<b>全体のまとめ</b>				
5 分	相談先	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約の基本を確認する</li> <li>契約をやめられる特別の場合を確認する</li> <li>必要がなければ「きっぱり断る」ことの大切さを確認する</li> <li>インターネットを安全に利用できるようにする</li> <li>「信用」をなくすことなく、上手にお金を管理できるようにする</li> <li>消費行動を見直し持続可能な社会を実現するために、自分たちに何が できるか考える</li> <li>困った時の相談先を知っておく</li> </ul>	裏表紙	



消費者講座・授業のヒント！！

- ・パワーポイント・DVDを使用する—視覚教材は生徒の興味が集中し、効果的です。
- ・ワークシートを使用する—書き込みながら学習することで、理解が深まります。
- ・ロールプレイをする—生徒や先生に演じてもらうことで興味をひき、具体的な理解につながります。